

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

吉川市立東中学校（埼玉県）

【取組内容①】 探究的な学びを通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の記録を残すデジタル・ポートフォリオの実践

ねらい

考えるテーマ、課題を明確にし、思考、検索、編集、まとめ等の自らの学びの時間を確保し、その学びの過程や成果を記録に残す。さらに他者と共有しながら、相互が自らの学びをさらに深めたり、グループの考え等を構築する機会創出をICTの活用を通してねらう。

多様性を理解した関係づくりができる

情報を適切に活用・編集・発信できる

本取組を通して吉川市が子供たちにつけたい力



学校外の人・モノ・コトと積極的に繋がることできる

成果

従来のノート、プリントだけでなく端末やLMS、インターネットを活用することにより広く、深く自分の課題と向き合うことが可能となった。それをデジタル・ポートフォリオで記録し、他者と共有する場面、それを後日発表するときには子供たちの積極性、自信が増すことも成果といえ、将来に向けた武器となることの気づきを得られたと考える。

課題

個々の学びの場面、共有の場面で何をどう記録し、それが自分の学びの足跡として将来役立てるかの見通しが立てづらく、教師の指示による記録、なんでも記録、自分の選択による記録等、方針・目標が不明確な点は次年度に検討していく必要がある。さらに、この実践を子供が支持なく市内各学校で日常的に行える積み重ねのための方策展開が必要。

